

西部教育事務所は、今年度も学校教育活動の活性化や充実に向けて、学校や先生方をサポートします。
今年度は、特に「働き方改革」に関する情報提供に力を入れていきます。「WEST」を通して、学校や先生方にとって、有意義な情報を提供していきます。

「働き方改革」特集① 合言葉は「Do(働) the best!」 ～担任制の工夫～

西部管内の小学校の事例（令和 6 年度からの取組）

（１）取組

- ・ 6 年生 2 学級を 3 人で担任する「チーム担任制」。

（２）取組の主な内容

- ・ 固定の学級担任を設けず、担任団 3 人がローテーションで各学級の担任として入る。担任団に加わった 1 人は、従来通りであれば級外担当の職員。
- ・ 担任に入らない教諭は、2 学級分の時間割作成、学級通信作成等の学級事務、通常学級に在籍する支援を要する児童への対応を行う（下記の例では「その他の業務」と表記）。



取組のイメージ

ある 3 週間の例	A 教諭	B 教諭	C 教諭
今週	6 年 1 組担任	6 年 2 組担任	その他の業務
翌週	その他の業務	6 年 1 組担任	6 年 2 組担任
翌々週	6 年 2 組担任	その他の業務	6 年 1 組担任

- ・ 授業は「教科担任制」で行う。2 学級、週 5 8 時間の授業は担任団で 3 等分し、職員 1 人あたり週 1 9 時間前後を受けもつ。

（３）校長先生の声 ◎…成果、●…今後の課題（更なる工夫、改善が必要）

- ◎通常学級に在籍する支援を要する児童が昨年度までに比べて落ち着いたことで、相乗的に学年全体の雰囲気も落ち着いた。
- ◎担任団 3 人が学年全体を見守るので、児童の変化に気付きやすい。
- ◎担任団の職員によれば、学級担任 1 人での「抱え込み」がなくなった。1 人での「抱え込み」がなくなったことで、メンタル的な「ゆとり」がある。
- ◎相談する際の「窓口」を複数設けることができるため、児童や保護者にとって相談しやすい環境が整う。
- ◎自分の得意な教科を担当することができ、その先生がもつ「強み」を生かすことができる。また、担当教科や担任 1 人あたりの授業時数が減ることで、教材研究に使う時間を削減することにつながる。
- ◎ 3 人で 2 学級の担任をすることで、「学級経営力」の差が生まれにくい。「透明性」が高まり、学級経営→学年経営の視点を共有することができる。
- ◎担任に入っていない職員が常に 1 人いることで、教室を飛び出したり、クールダウンを必要としたりする児童への対応等、突発的な事案に対応しやすい。
- ◎担任団の 1 人が学級担任を務めている週に、出張用務が入ったり、急な年休を取ったりしても、穴埋めがしやすい。その日だけ、担任に入っていない職員が、朝の会、給食指導、帰りの会等も含めてその学級に入ることが可能になる。しかも、その職員が担当する教科の授業を進めることができるので、自習プリント等の準備が必要なくなる。

- ◎今後、この取組において、経験年数の浅い職員が担任団に入り、学級担任の負担感を軽減しつつ、学級担任としての実務について、中堅やベテランがもつ豊富な経験を伝え、人材育成を行うOJTを進めることができる。
- 1週間ごとに学級担任が入れ替わるため、指導の継続性は、従来の学級担任制に比べて弱くなってしまう。
- 「チーム担任制」では、担任団が指導の方向性について共通理解を図ったり、日々の指導や出来事等について共有したりする時間が必要になる。
- 担任団の人間関係が何よりも大切。担任団の構成については、これまで以上に配慮する必要がある。
- 担任の先生との「1対1」の関係づくりが大切な下学年には、学級担任制の方が向いている。
- スタートしたばかりの取組なので、今後、職員や児童・保護者へアンケートを実施し、検証を行う必要がある。

西部管内の中学校の事例（令和5年度からの取組）

（1）取組

- ・全学級に複数の担任を配置する「複数担任制」。

（2）取組の主な内容

- ・校長、教頭、指導教諭（教務主任）、特別支援学級担任、通級指導教室担任、養護教諭、栄養教諭、事務職員を除く全職員がいずれかの学級を担任する。但し、各学級の担任の数は均等ではない。

取組のイメージ

学年	1組担任	2組担任	3組担任	職員数
1	A教諭、B教諭	<u>C教諭</u> 、D教諭	E教諭、F教諭、(G教諭)	6.5人
2	<u>H教諭</u> 、I教諭、(J教諭)	K教諭、L教諭		4.5人
3	M教諭、N教諭、O教諭	<u>P教諭</u> 、Q教諭		5人

注1：下線の職員は学年主任、注2：（ ）内の職員は短時間勤務

（3）校長先生の声 ◎…成果、●…今後の課題（更なる工夫、改善が必要）

- ◎令和5年度末に生徒・保護者に実施したアンケートでは、約80%から肯定的な回答を得た。「多くの先生と関わりがもてる」「色々な先生が見てくれている」「ケースバイケースで、色々な相談の窓口がある」等の理由が挙がっていた。
- ◎「複数担任制」を取り入れたことで、多くの職員が目で見え、生徒たちを見ることにつながり、新1年生が中学校生活に早く慣れることができた。
- ◎初任者をはじめ、経験年数が浅い職員を育てていくことができる。人材育成の面からも「複数担任制」は有効である。
- ◎「複数担任制」をとることで、フォロー体制を整え、若手に「失敗してもよい環境」で、多くの経験を積ませることができる。
- 令和5年度末に職員に実施したアンケートでは、「かえって忙しくなった」という意見もある（学年主任と担任を兼ねているため）。また、生徒・保護者に実施したアンケートでは、「誰に相談したらよいか分かりづらい。」「帰りの会の時間が長い。」等の意見が出ていた。
- 職員の業務量の平準化につなげたいが、まだ偏りがある。
- 担任団の職員の構成によって、取り組み方は違ってくる。

「まずはできる範囲で、できる限りやってみよう！」という思いをもって、担任制の工夫に取り組まれていることが分かりました。次号では、超過勤務時間の削減の取組について紹介します。

交通加害事故防止について

今一度、自身の運転について振り返り、交通事故を起こさないように気を付けましょう。
また、職場で互いに声を掛け合い、交通事故はもとより不祥事根絶についての意識を高めておきましょう。

一瞬の不注意で事故発生!! あなたの運転は大丈夫ですか？

令和5年度
西部管内における
職員の交通加害事故
40件
事故の多くは
交差点で発生！

- 交差点での加害事故の多くは、自転車や歩行者との接触や前方車両への**追突**です。原因のほとんどは不注意であり、自らの意識で防ぐことができる事故です。
- 県内で発生している加害事故の多くは**追突事故**であり、車間距離不足、周囲の安全確認不足、わき見運転によるものが、その原因として挙げられます。

追突事故を防ぐためのポイント

- ☆走行時は、前の車と3秒間以上の車間距離をとりましょう。
- ☆停車時は、前の車のタイヤの接地面が見える程度の車間距離（約3m）をとりましょう。
- ☆助手席に気を取られないために、持ち物を後部座席に置いて運転するなどの習慣をつけましょう。

誰にでも起こりうる交通事故

交通事故後の対応は大丈夫ですか？

- 交通事故が発生した場合は、怪我人の救護や危険防止措置等の所要の対応を行った後、直ちに警察へ通報するとともに、加害・被害を問わず速やかに管理職へ報告しましょう。



怪我人の
救護



警察へ
通報



管理職へ
報告

お気軽にご相談ください。

学校支援に伺います。

今年も学校の要請に応じて、みなさんをバックアップします。ぜひ、御活用ください。まずは、お電話をください。



講師を募集しています。

皆さんのお知り合いの方に講師を希望される方や、教員免許をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ御紹介ください！各学校、もしくは西部教育事務所（0954-23-3125）まで。